

＜東成区ホームページ記事抜粋＞

「障がい福祉」をテーマに地域福祉ワークショップ*を開催しました [2014年4月3日]

(*ワークショップ：体験型講座)

◎ワークショップのとりくみについて・・・

東成区地域福祉アクションプラン*推進の一環で、地域福祉についての認識を深めるとともに、地域福祉活動の推進、新たな担い手の育成・発掘などを目的に、校下単位でワークショップのとりくみを行っています。

今年度は、「障がい福祉」をテーマに取り上げ、地域における障がい者への支援や見守りについて考えていただくきっかけづくりをめざしています。ワークショップには、NPO 法人精神障害者支援の会ヒットが実施されている「語り部」事業を取り入れ、障がい当事者のお話、専門家のアドバイス、参加者のディスカッションを行うといった内容となっています。

(*東成区地域福祉アクションプラン：より身近で地域での実情にあった地域福祉を推進するため、公私協働により策定された行動計画)

○開催報告 1【中本地区】

- 開催日：平成 25 年 10 月 24 日（木）
- 場 所：中本老人憩の家
- 参 数：10 名
- 助言者：芦田 邦子さん

【精神障害者地域生活支援センターすいすい 相談支援専門員】



＜ワークショップの様子＞

「語り部」を取り入れたワークショップとしては今年度最初の開催となり、中本地区の民生委員を中心としたメンバー10名が集まりました。精神障がい当事者の方からの経験談や現在の生活についてのお話、参加者は熱心に耳を傾けました。

「地域として、障がい者の方にどのように接したらよいか？」との質問に、助言者からは「まずは専門機関とのパイプ役になってほしい」とのお話がありました。今後、地域で障がい者の支援や見守りが進むことを期待しています。

○開催報告 2【神路地区】

- 開催日：平成 25 年 11 月 29 日（金）
- 場 所：神路ふれあい会館
- 参 数：19 名
- 助言者：芦田 邦子さん

【精神障害者地域生活支援センターすいすい 相談支援専門員】



＜ワークショップの様子＞

「語り部」を取り入れたワークショップの2回目目が神路地区で行われ、民生委員と女性団体協議会を中心としたメンバー19名が集まりました。精神障がい当事者の方からは、発病し当時の様子や仕事で

苦勞した経験などのお話がありました。「周りの人の接し方で望むことはどのようなことですか？」との質問に、「特別扱いたくないでほしい」とのお答えが返ってきました。助言者の芦田さんも「精神障がいとは特別なものではなく、多くの方が悩まれています。正しく理解し、地域で見守ってほしい」と話されていました。一方、参加者からは、「なかなか考える機会がなく、勉強しないと分からないことも多い。今日は、良い経験になりました。」という声が聞かれました。精神障がいについての理解を深める良い機会になったのではないのでしょうか。

○開催報告 3【今里地区】

●開催日：平成 26 年 2 月 4 日（火）

●場 所：今里公民館

●参 数：18 名

●助言者：芦田 邦子さん

【精神障害者地域生活支援センターすいすい 相談支援専門員】



<ワークショップの様子>

「語り部」を取り入れたワークショップの 3 回目目が今里地区で行われ、民生委員と町会長を中心としたメンバー 18 名が集まりました。

精神障がい当事者の方からは、発病し入退院を繰り返した辛い経験や、仕事に復帰するまでに回復した経過などのお話がありました。その中で「精神の病気は誰もが患う可能性のある病気です。昔は長期で入院するケースが多かったですが、現在は地域で生活しながら治療していくケースが多くなっています」と、地域で見守ることの大切さを話されていました。また助言者の芦田さんからは「もし身近なところで精神障がいについて困っておられる方がいらっしゃれば、まず専門機関や区役所などにつないでください」と、地域としての接し方についてアドバイスがありました。

これまでは、精神障がいをテーマに話し合う機会が少なかったため、今後の地域における見守り活動を考えていくうえで、良い機会になったのではないのでしょうか。

○開催報告 4【宝栄地区】

●開催日：平成 26 年 2 月 7 日（金）

●場 所：宝栄会館

●参 数：16 名

●助言者：芦田 邦子さん

【精神障害者地域生活支援センターすいすい 相談支援専門員】



<ワークショップの様子>

「語り部」を取り入れたワークショップの 4 回目目が宝栄地区で行われ、民生委員や専門機関の職員などを中心に 16 名が集まりました。

精神障がい当事者の方からは、幻聴や妄想などから仕事が続かなくなった発病当初の様子や、回復に至るまでの経験についてお話がありました。特に、「病気だけの人生で終わりにたくない」「地域の中の一人として生きていきたい」という前向きな言葉が印象的でした。また、助言者の芦田さんは「障がいをお持ちの方が、より一層社会参加していただけるような地域にしていかなければならない」と話され

ました。一方、参加者からは、「災害の時などは、地域で障がい者を十分支援できるかどうか分からない。」という意見も出され、地域の障がい者への関わり方についての課題も明らかになりました。

今回のワークショップを機会に、障がい者福祉について認識を深めるとともに、障がい者との接し方や見守りについて議論が深まっていくことを期待しています。

○開催報告 5【大成地区】

●開催日：平成 26 年 3 月 28 日（金）

●場 所：大成地域集会所

●参 数：10 名

●助言者：芦田 邦子さん

【精神障害者地域生活支援センターすいすい 相談支援専門員】



<ワークショップの様子>

「語り部」を取り入れたワークショップの 5 回目が大成地区で行われ、民生委員や主任児童委員など 10 名が集まりました。

精神障がい当事者の方からは、発病当初の様子や、一度回復した後に再発し入退院を繰り返した辛い経験、さらには病気の経験を活かし仕事に就いている現在の暮らしなどについてお話がありました。また、「当事者の多くは、病気を克服し、一市民として生活していきたいと思っている。病気について周りに理解していただくことも大切だと思います」と話されていました。また、助言者の芦田さんは「精神障がいは、病気本来の苦しさに加え、周りの偏見が重荷になっている。誰もが発症する可能性のある病気であることを理解し、地域でケアしていける環境づくりが必要だ」と話されました。

終了後に実施したアンケートでは、当事者のお話を通じ「精神障がいを身近に感じる事ができた」といった内容の意見が目立ちました。今回のワークショップを機会に、障がい者福祉についての認識が徐々に深まっていくことを期待しています。

① 暮らしの共助ポータルサイト*事業〔予算額 5,818 千円〕

業績目標

- ・ 参加事業者数：10事業者<チャレンジ目標：20事業者>

取組実績

- ・ 事業者公募未実施
- ・ 官民連携手法導入の可能性調査、国の先導的官民連携支援事業補助金への申請、仕組みの構築に向けて課題整理を実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】「暮らしの共助ポータルサイト」の構築・運営についての可能性調査を行ったところ、ポータルサイトの構築・運営事業のみによる事業採算性は厳しいとの結果が出た。
- ・ 【改善策】公共的活動等を行う資金を得られる仕組みに主眼を置くのではなく、人と人のつながりが深い東成区の地域特性を生かして、人・情報・物等の資源が集まる「ふれ愛パンジー」を活用した情報受発信機能の強化を図り、地域活動の活性化をめざす。[26年度運営方針に反映]

（*ポータルサイト：インターネットに接続するときに、入り口となる、例えば企業などの団体が自身を紹介するために構築しているサイト）



経営課題2 区民との連携・協働によるまちづくりの推進

区役所と区民の協働によるまちづくりの取り組みをより効果的に進めるために、区民による地域活動や情報交流などの場と機会を充実させ、活動の活性化を図る必要がある。

○主な戦略・具体的な取組内容

【2-1 安全・安心なまちづくり】

区民や区役所、警察署、消防署、企業・事業所、医療機関、学校など関係機関等が連携して、災害や事故など市民生活に影響を与える様々なリスク*に対処する仕組みづくりを行うことにより、総合的な危機管理機能を拡充する。（*リスク：危険や損失を被る可能性を意味する概念）

① 防災対策事業〔予算額 2,124 千円〕

業績目標

- ・地域と連携した防災訓練の実施：11回（全11地域）

取組実績

- ・9月1日の防災の日ほかで、区内全11地域で震災訓練を実施
- ・災害時応急対策強化に繋げるために、地域の防災訓練と連携して、区職員防災訓練を実施。また、各地域の訓練には区医師会から医師を派遣するなど、防災関係機関と一体となった震災訓練を実施。

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】現在の地域訓練は、避難所開設など初期初動対応が中心。そのため、中長期の避難生活に備えた、避難所自主的運営を意識した訓練になるよう工夫が必要。
- ・【改善策】地域や関係機関等と連携して、中長期の避難所生活に備えた避難所運営訓練などを実施し、災害時の応急対策の強化を図る。[26年度運営方針に反映]

② 子ども防犯対策事業〔予算額 860 千円〕

業績目標

- ・犯罪に対する対応方法を知っている子どもの割合80%以上

取組実績

- ・犯罪に対する対応方法を知っている子どもの割合98%（※防犯教室実施後のアンケート集計）
- ・小学校の児童及び保護者を対象に、防犯アンケートを実施。区内8小学校で、地域安全担当職員が主体となり、子ども自身が自分の身を守るための実践的な子ども防犯教室を開催。子ども自身の防犯能力を高めるために「子ども防犯ハンドブック」を作成し、区内全小学生に配布した。

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】防犯教室ではアンケートで要望の多かった留守番時の対応を組み入れて実施したが、引き続き、児童、保護者等のニーズ(要望)を反映しながら、子ども自身の危機管理・対応能力の向上を図っていく必要がある。
- ・【改善策】子どもが犯罪に巻き込まれそうになった時の逃げ方など、実技をより多く取り入れるような改善を加え、26年度も継続して区内小学校で実践的な子ども防犯教室を開催する。[26年度運営方針に反映]

③ 地域安全対策事業〔予算額 1,417 千円〕

業績目標

- ・ 防犯対策を行っていると感じた区民の割合60%以上
- ・ 交通安全に心がけていると感じた区民の割合70%以上

取組実績

- ・ 防犯対策を行っていると感じた区民の割合74%
- ・ 交通安全に心がけていると感じた区民の割合76%
- ・ 区内公園等で、ひったくりや自転車盗難防止のキャンペーンなど、防犯意識の向上に向けた取組を実施（51回）
- ・ 安全・安心ミニフェスタを開催（2回 計約500人）
夏と春に区役所や区民センターで、警察署・消防署等の関係機関と連携して、子どもと親を対象に安全・安心啓発事業を実施。
- ・ 毎月1回安全安心の広報紙発行。学校園や地域のふれあい喫茶等で配布



目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】大規模集客が見込める、安全安心ミニフェスタの開催や各種キャンペーンなど、子ども防犯対策を中心に防犯対策を強化しているが、一方で、車上荒らし等が増加し、街頭犯罪はなかなか減少していない。
- ・ 【改善策】安全安心ミニフェスタでは、親と子どもなど啓発を行う相手を明確にして、より効果が上がるように内容と広報に工夫を加えた啓発を実施する。[26年度運営方針に反映]

④ 市民協働型自転車利用適正化事業〔予算額 8,747 千円〕

業績目標

- ・ 市民協働による啓発活動の参加者数：500人
- ・ 駅前さわやかミーティングが取り組んだ啓発活動：15回

取組実績

- ・ 市民協働による啓発活動の参加者数：750人
- ・ 駅前さわやかミーティングが取り組んだ啓発活動：31回
- ・ 毎月1回さわやかミーティング定例会を開催。区内の放置自転車問題解決の対策やアイデア・企画などを検討。市民協働による啓発活動を関係機関等とも連携し区内各所で実施。集客イベント（区民まつり）などにおいても自転車マナー啓発に取り組んだ。
- ・ 有償ボランティアによる鶴橋駅周辺、区内を巡回する啓発活動を実施。



目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】放置自転車問題を市民主体で解決する機運醸成が図られ駅前周辺の台数は減少。しかし、歩道が狭く通行障害が生じている駅前や通学路・マンション前などにおける放置自転車問題が顕在化している。
- ・ 【改善策】通学路やマンション前など多様化する放置自転車問題の解決を図るため、地域住民、関係機関、鉄道事業者に加え、商店街や学校、PTA、企業などとの連携強化を図り事業を継続する。

⑤ 相談・調整機能の充実〔予算額 ー 〕

業績目標

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：1件以上

取組実績

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：23件
- ・ 行政連絡調整会議の開催：12回
- ・ 行政連絡調整会議小会議の開催：11回

目標
達成



課題と改善策等



ルカちゃん

【2-2 地域のまちづくり活動の支援】

個別の地域課題解決に向け、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず連携し、協働しながらさらに自由に活発な活動ができるよう支援する。

さらに、区域・市域を越えた広域的な市民ネットワークによる地域資源の発掘を行う。

①市民協働ネットワーク形成支援事業【予算額 522千円】

業績目標

- ・「ふれ愛パンジー」でのネットワーク形成支援による地域活動数：50事例

取組実績

- ・「ふれ愛パンジー」での活動数：87事例
- ・ふれ愛パンジーの在り方や機能の検討、レイアウト変更の実施。区民との意見交換会、説明会（5回）、ラウンドテーブル*（5回）区民向けセミナー「パンジートーク」（8回）等の開催

目標
達成

課題と改善策等

- ・【課題】ふれ愛パンジーで人材交流を促進するには、気軽に集まることができ、つながりづくりをコーディネートする仕組み作りが課題である。
- ・【改善策】ふれ愛パンジー利用登録団体がニーズやシーズを発信できる掲示板を設置し、団体間のマッチングを図れる仕組みをつくる。[26年度運営方針に反映]

（*ラウンドテーブル：円卓会議。数人による小規模な会合のこと。あるいは出席者に明確な序列を定めない会議。）

②広域的な市民ネットワークによる地域資源発掘事業【予算額 5,378千円】

業績目標

- ・隣接市等との連携事業数：5件

取組実績

- ・隣接市等との連携事業数：5件
- ・大阪アドプト・リバープログラムによる河川周辺の清掃活動（5回）
- ・ひがしなり街道玉手箱の開催（11月）
- ・鳥取市、八頭町、徳島県、三重県、八尾市との連携イベントの開催
- ・わが町工場見てみ隊工場見学会の開催（2回・区内のみ）

目標
達成

課題と改善策等

- ・【課題】広域的な市民ネットワークを形成し、持続させるためには、日常的に交流できる仕組みが必要である。
- ・【改善策】交流の場であるふれ愛パンジーを活用し、ひがしなり街道玉手箱等の交流機会を提供することで、日常的に交流できる環境作りをめざす。[26年度運営方針に反映]

（*大阪アドプト・リバー・プログラム：大阪府では府民の皆さんとともに、地域に愛され大切にされる川づくりをめざして、自発的な地域活動を河川の美化につなげる取り組みを、地元市の協力のもと実施。「アドプト」とは、「養子にする」という意味。地域の団体等に河川の一定区間の美化活動を継続的に行っていただくもので、河川管理者（各土木事務所など）、参加される団体、及び地元市町村の三者で、参加団体の美化活動の内容や、河川管理者・市町村の協力・分担内容などを定めて協定を結ぶものです。）

③種から育てる地域の花づくり支援事業〔予算額 880 千円〕

業績目標

- ・ ボランティアの年間活動延べ人数：200名
- ・ 各校下単位でボランティアグループを形成：各校下1グループ

取組実績

- ・ ボランティアの年間活動延べ人数：400名
- ・ 各校下単位でボランティアグループを形成：11校下中8校下。
- ・ 既存、片江・大成小学校の拠点に加え、南深江公園での花苗育成に取り組み、学校9箇所、公園2箇所、その他施設2箇所へ花苗の提供を行った。

課題と改善策等

- ・ 【課題】ボランティアの活動拠点が小学校内であることから狭隘であるため、活動拠点の拡充が課題である。
- ・ 【改善策】平成25年度、新たに南深江公園内の拠点設置の環境が整ったため、小学校以外での事業展開も含め、活動拠点の拡充を図る。

④区地域福祉推進支援事業〔予算額 454 千円〕

業績目標

- ・ ワークショップにおけるアンケートで、地域とのつながりやきずながより一層大切と感じた方が60%以上

取組実績

- ・ アンケート結果 98%
- ・ 5校下においてワークショップを実施。



課題と改善策等

- ・ 【課題】今後、さまざまな場面を想定して、つながりの必要性を多くの区民に発信し、地域福祉の課題に向けて一層協働を強めていく必要がある。
- ・ 【改善策】広報紙等を活用し、つながりの必要性や地域福祉についての啓発を充実させるとともに、地域課題の解決に向けたさまざまな場を設ける。〔26年度運営方針に反映〕

⑤未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業〔予算額 964 千円〕

業績目標

- ・わがまちフォーラムの参加者数：100人
- ・未来わがまち推進会議メンバー数：145人

取組実績

- ・わがまちフォーラムの参加者数：72人
- ・東成区未来わがまち推進会議メンバー数：124人
- ・全体会(6回)、勉強会(4回)、班会議(16回)、区民まつりでの広報活動、アドトリバープログラム活用の平野川沿岸清掃活動(5回)を実施

課題と改善策等

- ・【課題】わがまちビジョンの目標の一つを達成するなど、区民の創意工夫により活動を推進しているが、活動を持続するための財源の確保が課題である。また、10年の節目を迎えるにあたり、今後の会議のあり方を検討していく必要がある。
- ・【改善策】民間等の助成制度の活用を検討するなど、自主・自立に向けた、新たな手法による活動を検討する。

(*フォーラム：公開討論会、評議会や理事会など物事の討論や決定を行う場または会)

⑥ 区民健康づくり対策事業〔予算額 532 千円〕

業績目標

- ・ボランティア団体と連携して開催する講座の参加者数：1,000人以上

取組実績

- ・ボランティア団体と連携して開催する講座の参加者数(35回)1325人
- ・健康づくり講演会126人、地域健康講座(35回)709人、夜間連続講座(延16回)延489人、健康展50人、健康づくりフォーラム延106人(22組の親子含む)、連絡調整会議(2回)41人

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】ボランティア団体と連携した講座等の取り組みは、参加者増に繋がり有効である。
- ・今後、普及啓発活動を各種健診(検診)の受診者増等、区民の健康推進にどう繋げていくかが課題である。
- ・【改善策】健康への関心を高めるため保健師が全地域に草の根的に出向き、啓発活動を展開するとともに、東成区地域保健・地域福祉ビジョンに基づく地域生活支援システム専門分野別実務者会議(健康づくり推進)などの場で議論し取り組んでいく。[26年度運営方針案に反映]

【2-3 子育て不安を軽減し、安心して子育てできる取組の充実】

安心して子育てできるよう身近な地域での相談や支援体制を充実するとともに、家庭における子育てを支援するため、子育てに関する情報提供の充実や、保護者や子ども同士の交流機会を提供する。

① ウェブサイトを活用した区民子育て交流事業〔予算額 1,000千円〕

業績目標

- ・ 育児相談後の満足度60%以上

取組実績

- ・ 当初想定していたウェブサイト Facebook* の活用に変更し、平成26年2月に子育て情報に特化したFacebookページを開設した（業績目標測定は26年6月以降予定）。
- ・ 26年2月～4月の「いいね！」*100件

目標達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】 子育て情報に関する周知度が十分とは言えないため、Facebookを活用した情報発信の充実に努めているが、今後一層周知を図っていく必要がある。
- ・ 【改善策】 広報紙等を活用した広報活動を積極的に行っていく。[26年度運営方針に反映]

(*Facebook (フェイスブック)：インターネット上の情報交流サイト。携帯電話等からも使用可能。)

(*いいね！：インターネット上の情報交流サイト等で、特定の情報が好き、楽しい、支持できるといった意思を示すための機能 (ボタン)。ボタンを押した数が表示される。)

② なにわっ子すくすくスタート〔予算額 214千円〕

業績目標

- ・ 編集会議に参加するボランティア：15人

取組実績

- ・ 編集会議に参加したボランティア：17人
- ・ 3回編集会議を開催し、1月に子育て支援情報誌1000部発行し、母子健康手帳交付時等に配布。

目標達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】 情報誌作成にあたり、子育て中の保護者のニーズにより対応したものにしていく必要がある。
- ・ 【改善策】 編集会議に子育て中の保護者の参加を促し、子育て中の保護者のニーズを反映した内容にする。[26年度運営方針に反映]

③ 子育て支援事業の充実〔局予算額 370 千円〕

業績目標

- ・ 子育てフォーラム、子育て応援隊事業参加者等の満足度（アンケート）：60%以上
- ・ 子育て応援隊事業参加人数：20人以上

取組実績

- ・ 子育てフォーラム参加者の満足度（アンケート）：87%
- ・ 子育て応援隊事業参加人数：57組の親子
- ・ 子育てフォーラム（11月）参加478人、子育て応援隊事業（6回）開催
- ・ 地域子育てサークル：7月に合同イベントの子育てふれあいサークル開催、207組の親子が参加。11校下の子育てサークルに講師派遣。
- ・ 地域子育て支援拠点事業及び関連情報誌やホームページで情報発信し、2月からはFacebookでも事業案内を実施。

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】 子育て支援事業には多くの参加があり関心が高いが、さらにその先のボランティア育成にも繋げていく必要がある。
- ・ 【改善策】 事業内容を充実させ、子育てボランティアの魅力の情報発信に努める。〔26年度運営方針に反映〕

④ 保育所待機児童の解消〔局予算額 37,297 千円〕

業績目標

- ・ 個人実施型保育ママ事業：3ヶ所設置

取組実績

- ・ 保育ママ事業設置：0ヶ所
- ・ 認定こども園1か所開設。保育所に対し入所枠の拡大を働きかけてきた。
- ・ 保育所待機児童数：0人

課題と改善策等

- ・ 【課題】 個人実施型保育ママについては未設置であるが、保育所待機児童の解消は図られる見込みである。引き続き待機児童0を維持するため小規模保育事業の取組みを進める必要がある。
- ・ 【改善策】 新たに小規模保育事業の実施を1か所予定している。〔26年度運営方針に反映〕

【2-4 学校支援システムの構築】

保護者、学校と連携して、学校の実態が見える仕組み、学校を支援していく仕組みを構築する。

① 学校支援の仕組みの構築〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 学校支援の仕組みのできた小学校数：6校
- ・ アンケートを実施した学校数：小学校11校、中学校 4校

取組実績

- ・ 各校でヒアリングを実施したが、既に独自の取組を進めている学校が多かった。
- ・ 今回の学校支援の仕組みを取り入れた小学校：3校
- ・ 学校支援する地域人材等を発掘（協力企業等8社）

課題と改善策等

- ・ 【課題】さらに実情やニーズの把握に努め、学校との連携を強化していく。
- ・ 【改善策】校長会等でより連携を図り、学校の実情に応じたニーズを取り入れていく。

【2-5 人権尊重のまちづくり】

東成区人権啓発推進協議会と連携し、各校下の人権啓発推進員を中心とした各校下に根差した人権啓発活動を進めていく。

① 人権啓発推進事業〔予算額 1,120 千円〕

業績目標

- ・ 各事業におけるアンケート調査にて、「人権意識が高まった」と回答する参加者：60%

取組実績

- ・ 「人権意識が高まった」と回答する参加者：77%
- ・ 人権啓発推進員連絡会 毎月開催
- ・ 区内に在住・在学の小学生を対象に人権標語を募集、各小学校単位で12月人権週間の際に表彰を実施。標語は啓発物品に記載し、人権啓発に活用
- ・ 人権映画会（ヒューマンシアター）（3月）に開催



課題と改善策等

- ・ 【課題】人権意識向上のために、粘り強く活動していく必要がある。
- ・ 【改善策】人権啓発推進員や地域住民と検討し、人権週間、人権映画会などのイベントや日々の啓発活動で、広く長く伝わるように啓発活動を行う。

経営課題3 区役所力の強化

職員の意識改革、スキルアップ*とともに、区民の意見を施策・事業等に反映させる仕組み、区民が区政をチェックする仕組みが必要である。

(*スキルアップ：知識や技能を高めること。)

○主な戦略・具体的な取組内容

【3-1 区政運営、区政評価の仕組みの構築】

地域の代表からなる区政会議や区民と区長のタウンミーティング等により、多様な区民の意見を収集し区政に反映させるとともに、区民による区政の満足度評価や外部評価を実施する。

① 区政会議運営事業〔予算額 763 千円〕(再掲)

業績目標

- ・ 区政会議の認知度：区民モニターアンケートで60%以上

取組実績

- ・ 区民モニターアンケート結果 46%
- ・ 全体会議の開催：2回、・部会未開催

課題と改善策等

- ・ 【課題】区政会議に対する認知度が低く、部会も未開催。
- ・ 【改善策】区政会議の周知を強化し、関心を高めるため内容の公表等を強化する。部会を開催し、より具体的な区民の意見を収集する場を設ける。[26年度運営方針に反映]

② 区民モニター〔予算額 891 千円〕

業績目標

- ・ 区民モニターの回答率：50%

取組実績

- ・ アンケートの実施：1回目76%、2回目66%、3回目59%

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】アンケートの回答結果等については、区民モニター以外にはあまり知られていない。
- ・ 【改善策】アンケート結果については、ホームページや広報紙等で広く周知していく。

③ 区民と区長のタウンミーティング〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 区民と区長のタウンミーティングにおける参加者の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 満足度 76%（区長タウンミーティングの開催：30回）

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】タウンミーティングの参加者が少なく、固定化傾向にある。
- ・ 【改善策】地域の会議やイベントの場を活用するなど運営方法を工夫する。[26年度運営方針に反映]

④ 区民サービスの向上と効率的な業務運営〔局予算額 22,980 千円（市民局予算）〕

業績目標

- ・ 来庁者への窓口サービス満足度調査による満足度：90%以上

取組実績

- ・ 満足度調査 4月 98%、5月 99%
- ・ 投票による満足度調査を、5月まで実施
- ・ 8月以降は、より具体的な意見を聴取するため、意見に対する回答とともに庁舎内に掲示し、対応の見える化を図った。

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】8月以降に実施している意見聴取は満足度を計る指標としては不十分である。
- ・ 【改善策】区民ニーズに即した窓口サービスの向上に努める必要があるため、満足度調査の方法を見直す。[26年度運営方針に反映]

⑤ 広報事業の充実〔予算額 10,941 千円〕

業績目標

- ・ 広報の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 区民モニターアンケート結果 満足度 59%
- ・ 5月から広報板の活用開始、8月より区HPトップページの改修し、広報紙最終面を全面地域情報ページとした。

課題と改善策等

- ・ 【課題】 広報紙の紙面に読みやすさ、わかりやすさが求められている。
- ・ 【改善策】 広報紙の満足度を高めるため、区民や民間の提案を取り入れ、区民のニーズに合致した紙面づくりを行う。〔26年度運営方針に反映〕

⑥ 相談・調整機能の充実〔予算額 - 〕（再掲）

業績目標

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：1件以上

取組実績

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：23件
- ・ 行政連絡調整会議の開催：12回
- ・ 行政連絡調整会議小会議の開催：11回

目標
達成



課題と改善策等

⑦ 行政区のブロック化に向けた検討〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 区民への説明会での理解度：60%

取組実績

- ・ 未測定
- ・ ブロック単位での行政運営の実現には区割り等の決定が必要であるが、大阪府・大阪市特別区設置協議会において議論されているため、取組は実施できなかった。

課題と改善策等

【3-2 改革を担う職員、職場風土づくり】

研修、OJT等により区民目線の習得、役割と責任の意識、経営意識、行動変革を徹底、目標達成・実現力のあるスキルの習得を図る。

① 改革を担う職員と組織風土づくり〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 区長研修における職員の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 満足度 57%
- ・ 東成区職員向上基本プランの策定
- ・ 区長研修の実施：3回

課題と改善策等

- ・ 【課題】更なる職員のモチベーション*アップにつながるよう研修内容を検討する必要がある。
- ・ 【改善策】受講者アンケートを分析し、内容の改善、充実を図る。

(*モチベーション：動機づけ、やる気。)

① 改革を担う職員と組織風土づくり〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 区長表彰への推薦人数：5人以上

取組実績

- ・ 推薦事例：1件
- ・ 所属内改善事例発表会の実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】事例の推薦方法が柔軟でないことや区長表彰制度の理解度・認知度が低い。
- ・ 【改善策】推薦対象範囲の見直しや、区長と職員との意識共有の場を設け、その意義を伝えることで、推薦事例増につなげる。

【3-3 積極的な情報発信等による地域活動支援】

身近な行政単位である校区等地域における市民活動の支援を行う地域担当制を強化するとともに、区役所の相談・調整機能を充実させる。

また、地域の多様な主体による活動を支えていくため、人材、資金、ノウハウなどの地域活動に関する様々な情報を収集・把握し、広く発信するとともに、地域活動に関心のある市民と市民活動団体とのマッチングといったコーディネート機能を充実するなど、地域活動を総合的に支援していく。

① 地域担当制の充実〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 地域情報を得るため、地域で開催される会議への参加：11校下各12回、132回

取組実績

- ・ 各校下への会議等参加：132回以上
- ・ 各校下の地域担当者が地域で開催される会議等へ参加し、課題等を収集した。

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】地域課題に対し区役所が十分な支援を行えるよう、すべての区職員が地域を意識する土壌を醸成する必要がある。
- ・ 【改善策】全職員が区内全域の地域情報を共有できるようにし、業務との関連を検討するなど、さらに地域への関心向上をめざす。

